

To:医療機器メーカー様/ディーラー様

To:ものづくり企業様/ICT企業様

参加費
無料

To:医療機器製造業者様

To:ファブレス企業様/ベンチャー企業様

お申込み
はこちら→



<第2回> =神臨工・DHIC(工科大学)共同イベント= 神奈川県 臨床機関ニーズ発表会

<同時開催:講演、展示、交流会>

会期:2026年 3月13日(金) 10:00~16:00

会場:東京工科大学蒲田キャンパス12号棟7階 JR京浜東北線 蒲田駅西口徒歩2分

<医師等からのニーズ発表>

<AM=11:00-12:00に発表> <PM=13:30-14:50に発表>

- AM 聖マリアンナ医科大学 川越康仁氏 (川崎市立多摩病院循環器内科医長:AIを使った疾患発生予測)
- PM 聖マリアンナ医科大学 藤原清悦氏 (医学部生理学講師:振動刺激を用いたうつ症状の緩和装置)
- AM 聖マリアンナ医科大学 貝原俊樹氏 (病院循環器内科医長/リハセンタ副センタ長:心臓リハを年単位で継続)
- PM 横浜市立大学 谷口隼人氏 (附属市民総合医療センタ 高度救命救急センタ副部長:Public Access Defibrillation(公共アクセス除細動)とテクノロジーの融合で変える蘇生の未来)

<ME/CEからのニーズ発表>

<AM=11:00-12:00に発表> <PM=13:30-14:50に発表>

- AM 日本医科大学 赤沼可菜子氏 (武蔵小杉病院 ME部:市販のマルチツールは不要な物が多く院内で持ち歩き難い)
- PM 日本医科大学 赤沼可菜子氏 (武蔵小杉病院 ME部:V-VA ECMOの分配送血量の常時測定ができていない...)
- AM 日本医科大学 佐々木拓也氏(代理:赤沼氏) (武蔵小杉病院 ME部:シャント透析には穿刺が必要不可欠となる)
- PM 昭和医科大学 野川悟史氏 (藤が丘病院 臨床工学室:患者の間違いが防げない)
- PM 昭和医科大学 野川悟史氏 (藤が丘病院 臨床工学室:医療機器のコードをまとめたい!!)
- AM 横浜市立大学 岩村庸平氏 (附属市民総合医療センタ 臨床工学部:CO₂ポンベの残量を検出したい!)
- AM 横浜市立大学 田村弘子氏 (附属市民総合医療センタ 臨床工学部:エコー穿刺のストレス改善)
- PM 北里大学 古平 聡氏 (医療衛生学部教授:呼気ガスの漏れや流れを把握(視覚化))したい)
- PM 北里大学 古平 聡氏 (医療衛生学部教授:近赤外線酸素飽和度測定装置をもっと応用したい)
- PM 山口県立総合医療センタ 宗像大輔氏 (臨床工学部:画像解析×RAG(検索拡張生成)によるアブレーション術中エラー対応支援)

<講演> イノベーションセミナー <(A)10:30-11:00> <(B)13:00-13:30> <(C)14:50-15:20>

- (A) 医療AI 宇賀神敦氏 (医療AIプラットフォーム技術研究組合※ 理事長) ※厚生労働大臣 認可
- (B) 医療DX 村上幸三氏 (昭和医科大学病院放射線科 准教授) ※経済産業大臣 認可
- (C) 医療教育XR 田仲浩平氏 (東京工科大学片柳研究所デジタルヘルス・イノベーションセンタ センタ長)

<展示> ハンズオンセミナー <第1回目 12:00-13:00> <第2回目 14:50-15:50> 1・2回目と共通

- AR/VR実践 笠井亮佑氏 (東京工科大学医療保健学部臨床工学科 准教授)

<交流会(無料)> 名刺交換会 <15:20-15:55>

※本プログラムは予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※本プログラムは予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

タイムテーブル

10:00	ニーズ プレゼン(発表会)	イノベーション セミナー(講演会)	ハンズオン セミナー(展示会)	交流会 (名刺交換会)
		プロローグ(主催者)		
11:00		(A)10:30-11:00		
12:00	<AMの部> 11:00-12:00		<1回目> 12:00-13:00	
13:00		(B)13:00-13:30		
14:00	<PMの部> 13:30-14:50			
15:00		(C)14:50-15:20	<2回目> 14:50-15:50	15:20-15:55
16:00		エンディング(主催者)		

工科大MAP<大田区西蒲田5-23-22>



主催

学校法人片柳学園 東京工科大学 片柳研究所 デジタルヘルスイノベーションセンター (略称:工科大 DHIC)
公益社団法人神奈川県臨床工学技士会(略称:神臨工) 事務局:合同会社Society5.0<運営委託先>



Needs Presentation

■ 2026年3月13日(金) 11:00~12:00 ← この1時間の中で登壇(10分程度)



川越 康仁 先生
聖マリアンナ医科大学
川崎市立多摩病院
循環器内科主任医長/助教

AIを使った疾患発生予測

専門/担当分野
虚血性心疾患

<プロフィール>

2013年 東北大学医学部卒業
2013年 聖隷浜松病院 研修医
2015年 国立循環器病研究センター レジデント(心臓血管内科)
2018年 国立循環器病研究センター 専門修練医(集中治療科)
2020年 国立循環器病研究センター 専門修練医(冠疾患科)
2022年 聖マリアンナ医科大学内科学(循環器内科)助教

■ 2026年3月13日(金) 11:00~12:00 ← この1時間の中で登壇(10分程度)



貝原 俊樹 先生
聖マリアンナ医科大学
大学病院循環器内科主任医長/講師
リハビリテーションセンター副センター長

心臓リハビリ(運動療法)を年単位で継続させたい

専門/担当分野
虚血性心疾患、カテーテルインターベンション、デジタル循環器学、予防循環器学、心臓リハビリテーション

<講師プロフィール>

2009年 自治医科大学医学部 卒業
2009年 東京都立府中病院 研修医
2011年 東京都立広尾病院循環器科 医員
2012年 新島村国民健康保険本村診療所 所長
2014年 自治医科大学大学院地域医療学系心血管病学入学
東京都立広尾病院循環器科 医員
2015年 新島村国民健康保険式根島診療所長
2016年 新島村国民健康保険本村診療所長
2017年 東京都立広尾病院循環器科医員
2018年 聖マリアンナ医科大学内科学(循環器内科)助教
2020年 ベルギー ハッセルト大学 留学
2022年 聖マリアンナ医科大学内科学(循環器内科)助教
2023年 聖マリアンナ医科大学循環器内科学 講師

■ 2026年3月13日(金) 13:30~14:50 ← この1時間の中で登壇(10分程度)



谷口 隼人 先生
横浜市立大学
附属市民総合医療センター
高度救命救急センター部長代理/講師

Public Access Defibrillation(公共アクセス除細動)とテクノロジーの融合で変える蘇生の未来

専門/担当分野
救急一般、集中治療、災害医療、麻酔

<プロフィール>

2007年 群馬大学, 医学部, 医学科 卒業
2021年度 横浜市立大学, 医学部, 助教
2022年度 横浜市立大学, 附属市民総合医療センター, 助教
2022年度 横浜市立大学, センター病院, 助教
2023年度 横浜市立大学, 附属市民総合医療センター, 講師

■ 2026年3月13日(金) 13:30~14:50 ← この1時間の中で登壇(10分程度)



藤原 清悦 先生
聖マリアンナ医科大学
医学部生理学講師

振動刺激を用いたうつ症状の緩和装置

専門/担当分野
生理学(統合生理)

<プロフィール>

2006年 山形大学大学院 修了
2005年4月 (独)農業生物資源研究所・動物脳機能研究チーム 研究員
2006年4月 聖マリアンナ医科大学・医学部・生理学 助手
2007年4月 聖マリアンナ医科大学・医学部・生理学(統合生理) 助教
2011年4月 聖マリアンナ医科大学・医学部・生理学(統合生理) 講師



Needs Presentation

■ 日本医科大学武蔵小杉病院 ME 部



372病床

<11:00-12:00の間で20分間のプレゼン>

- (1)市販のマルチツールは不要な物が多く院内で持ち歩き難い!
<臨床工学技士 赤沼 可菜子 先生>
- (2)シャント透析には穿刺が必要不可欠となる
<臨床工学技士 佐々木 拓也 先生(代理:赤沼先生)>

<13:30-14:50の間で10分間のプレゼン>

- (3)V-VA ECMOの分配送血量の常時測定ができていない…
<集中治療専門臨床工学技士 赤沼 可菜子 先生>

■ 横浜市立大学附属市民総合医療センタ 臨床工学部



726病床

<11:00-12:00の間で10分間のプレゼン>

- CO₂ポンベの残量を検出したい!
<臨床工学技士 岩村 庸平 先生>

<11:00-12:00の間で10分間のプレゼン>

- エコー穿刺のストレス改善
<臨床工学技士 田村 弘子 先生>

■ 昭和医科大学藤が丘病院 臨床工学室



584床

<13:30-14:50の間で20分間のプレゼン>

- (1)患者の間違いが防げない
- (2)医療機器のコードをまとめたい!!
<臨床工学技士長 野川 悟史 先生>

■ 北里大学医療衛生学部 医療工学科



大学病院/1,135床

<13:30-14:50の間で20分間のプレゼン>

- (1)呼気ガスの漏れや流れを把握(視覚化)したい
- (2)近赤外線酸素飽和度測定装置をもっと応用したい
<医療安全工学研究室教授/臨床工学技士 古平 聡 先生>

■ 山口県立総合医療センタ 臨床工学部 (オンライン特別参加)



504床

<13:30-14:50の間で10分間のオンラインプレゼン>

- 画像解析×RAG(検索拡張生成)によるアブレーション術中エアー対応支援
<臨床工学技士 宗像 大輔 先生>

お申し込み
みはこちら
から



Innovation Seminar

【A】 2026年3月13日(金) 10:30~11:00



宇賀神 敦 先生

医療AIプラットフォーム技術研究組合
理事長
HumaNex.AI合同会社
代表社員・CEO

生成AIや医療DXの進化を支える セキュリティやガバナンス

経営面・人材面の課題解決には、AIやデータの利活用が必須であり、
これらを支えるセキュリティやガバナンスが重要である。

<講師プロフィール>

1983年 日立製作所入社、コンピューターの設計、マーケティング、販売責任者を経て、
2012年 よりヘルスケア新事業責任者、英国NHSとの協業を経て、
2018年 ヘルスケアビジネスユニットChief Lumada Officerとして
日立製作所デジタルヘルス事業責任者。
2018年 内閣府SIP AIホスピタルPJ研究責任者、
2021年 医療AIプラットフォーム技術研究組合専務理事を経て、
2026年 現職。AMED P S、課題評価委員、東京科学大学非常勤講師を併任

【B】 2026年3月13日(金) 13:00~13:30



村上 幸三 先生

昭和医科大学
医学部放射線医学講座放射線学部門
准教授

昭和医科大学における医療DXへの取組

臨床医が実践するAI時代におけるAI・ICT利活用術。データ抽出と整理、
情報発信そしてアプリ開発までを解説

<講師プロフィール>

2002年 昭和大学医学部卒業
同年昭和大学大学院医学研究科外科系脳神経外科学入学
2008年 昭和大学大学院医学研究科外科系脳神経外科にて医学博士取得
2011年 ゴムアレルギーのため昭和大学医学部放射線医学講座入局→同講座 助教
2017年 昭和大学医学部放射線医学講座 講師
2022年 昭和大学医学部放射線医学講座 准教授(現任)

【C】 2026年3月13日(金) 14:50~15:20



田中 浩平 先生

東京工科大学片柳研究所
デジタルヘルス・イノベーションセンタ
センター長・教授

医療XR・AIで医療・福祉分野で 働く人を支援し今からの社会を豊かに

医療、看護、介護、ヘルスケア領域に最新テクノロジーを融合させ、
医療・福祉領域で働く人たちの健康や働き方をサポート

<講師プロフィール>

1981年 産業医科大学病院 診療支援部門 ME管理科 臨床工学技士
2007年 徳島文理大学 工学部 臨床工学科 教授
2013年 純真学園大学 保健医療学部 医療工学科 教授 学科長
2014年 東京工科大学 医療保健学部 臨床工学科 教授(現任)
2017年 東京工科大学大学院 医療技術学研究科 臨床検査学専攻修士課程教授(現任)
2024年 片柳研究所 デジタルヘルスイノベーションセンター センター長(現任)

お申し込み
みはこちら
から



Hands-on Seminar

【1回目】 2026年3月13日(金) 12:00~13:00
【2回目】 2026年3月13日(金) 14:50~15:50

片柳研究所 デジタルヘルスイノベーションセンター

医療AR作業支援システム(MARSS)及び 医療VR人工心肺シミュレータ(MVR-CPBS)による 医療技術訓練



笠井 亮佑氏

東京工科大学 片柳研究所
デジタルヘルスイノベーション
センター / 准教授



佐藤 広隆氏

東京工科大学 片柳研究所
デジタルヘルスイノベー
ションセンター / 助教

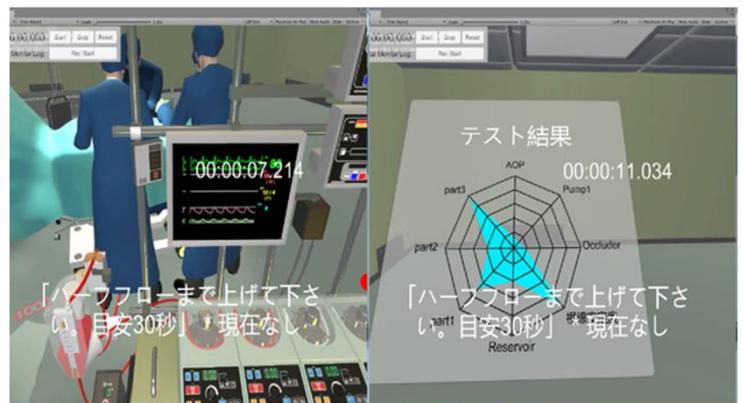
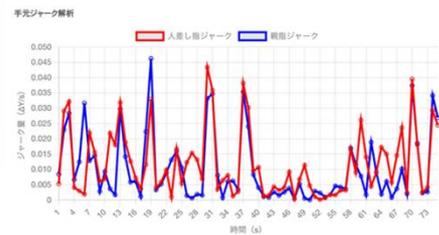


内林 諒輔氏

東京工科大学 片柳研究所 デジ
タルヘルスイノベーションセンター
/ 助教



医療AR作業支援システム(MARSS)



医療VR人工心肺シミュレータ(MVR-CPBS)